

TOPICS

【健康】フレイル予防のための体力診断講座を実施（飯塚町）



11月8日に、高崎健康福祉大学の篠原智行教授を招いてフレイル予防のための体力診断講座を開催しました。

健康寿命延伸のために、体力・認知能力を診断し、フレイル注意度をチェックすることが重要です。

【地域】子持ち鮎と上州おきりこみを食べる会（下小島町）

10月27日、地域の交流と情報交換を目的に開催しました。

美味しい料理を味わいながら、思い出話から地域課題についてご意見まで、多くの声をいただき、有意義な会となりました。



【政策】地域で賃上げの好循環をつくる「公契約条例」を提言

公契約条例は
地域活性化の切り札！

事業者が適正な労働条件で人材を確保できれば、事業・サービスの質の向上だけでなく、地域に適正な雇用ができ、住民の定着や社会保障費の負担の減少にもつながります。総合評価方式の導入と公契約条例の制定は、自治体、事業者、労働者、住民のすべてにメリットがあり、地域経済の好循環を生み出します。



連合資料より

今、政労使が協力し、大手企業を中心に賃上げの機運が高まっていますが、**地場中小企業には依然として低賃金と人手不足が解消されない状況が続いています。**

後藤は一般質問において、地域で賃上げの好循環をつくるため、自治体が発注する**工事や委託業務等を受注する企業の適正な利益と、従事する労働者の適正な労働条件を確保**することを目的とする「公契約条例」が今こそ必要な政策であると提言。

今後、党会派を超えた政策協議を通じて制定を目指していきます。

LIBERAL GUNMA 実現力

現役世代の切実な課題であった「103万円の壁」が、総選挙の結果見直しの流れとなったことで、多くの国民が「一票」で国を動かせる手応えを感じたのではないのでしょうか。

自民・公明・国民の三党協議という枠組みには様々な意見がありますが、立民・国民の旧民主党勢力は「**政権準備政党**」として、政策本位で与党とも建設的に対話する姿勢を示し、「従来型野党」から脱皮しなければならないと後藤は考えます。

県議会においても、後藤は他会派とも積極的に政策協議を重ね、再エネの推進や、今議会ではカスタマーハラスメント防止条例の制定に向けた議論をリードし、**政策実現力に磨き**をかけていく所存です。



後藤かつみ
県議会レポート



HP

<http://www.ccrgoto.com/>
<http://www.eaglesgoto.com/>
(スマートフォン用)



Facebook



発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町 800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com